

2011年5月31日

2011年3月期 決算説明会

日本山村硝子株式会社

代表取締役社長 山村幸治

目次

- I 東日本大震災の影響について
- II 2011年3月期 決算内容
- III 2011年3月期 セグメント別業績と予想
- IV トピックス

I 東日本大震災の影響について

当社の被害と復旧の状況

① 従業員及びその家族に人的被害はございませんでした。

② 被害を受けた事業所

- ・ガラスびんカンパニー東京工場
- ・ガラスびんカンパニー埼玉工場
- ・プラスチックカンパニー宇都宮工場

③ 復旧状況

東京・埼玉の両工場は、3月11日の地震により操業を一時停止しましたが、数日後に再開しました。

また被害の大きかった宇都宮工場についても、まず4月20日にプラスチックキャップの製造ラインで操業を再開し、5月12日には全ラインで再開しております。

④ 業績への影響

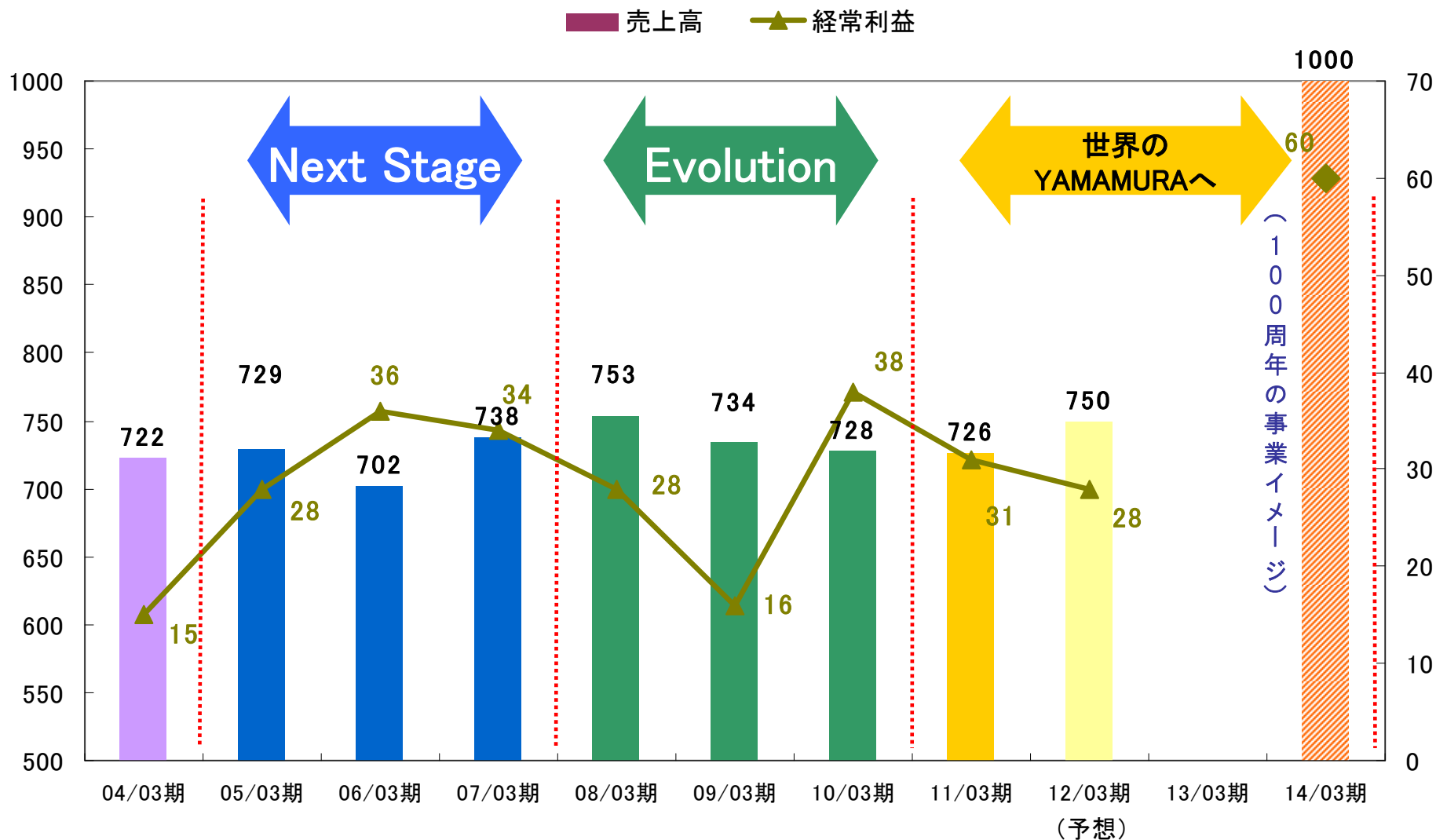
2011年3月期決算では、特別損失として約5億円を計上しております。

Ⅱ 2011年3月期 決算内容

- ◇ 業績推移と計画
- ◇ 連結損益計算書
- ◇ セグメント情報
- ◇ セグメント別売上高・利益構成比
- ◇ 連結貸借対照表
- ◇ 連結C／F計算書

業績推移と計画

単位: 億円



連結損益計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

| | 2010/03 | 売上高比 | 2011/03 | 売上高比 | 増減額 | 増減率 |
|-------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 売上高 | 72,784 | 100.0% | 72,600 | 100.0% | △ 184 | △ 0.3% |
| 営業費用 | 69,462 | 95.4 | 69,933 | 96.3 | 470 | 0.7 |
| 売上原価 | 57,888 | 79.5 | 58,039 | 79.9 | 150 | 0.3 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,574 | 15.9 | 11,893 | 16.4 | 319 | 2.8 |
| 営業利益 | 3,322 | 4.6 | 2,667 | 3.7 | △ 655 | △ 19.7 |
| 営業外収益 | 1,181 | 1.6 | 1,096 | 1.5 | △ 84 | △ 7.2 |
| 受取利息及び配当金 | 64 | | 78 | | | |
| 持分法による投資利益 | 781 | | 723 | | | |
| その他 | 334 | | 293 | | | |
| 営業外費用 | 730 | 1.0 | 699 | 1.0 | △ 30 | △ 4.2 |
| 支払利息 | 411 | | 375 | | | |
| その他 | 319 | | 323 | | | |
| 経常利益 | 3,773 | 5.2 | 3,063 | 4.2 | △ 709 | △ 18.8 |
| 特別利益 | 1,029 | 1.4 | 399 | 0.5 | △ 630 | △ 61.2 |
| 固定資産売却益 | 1,028 | | 14 | | | |
| 投資有価証券売却益 | - | | 43 | | | |
| 負ののれん発生益 | - | | 331 | | | |
| 貸倒引当金戻入益 | 1 | | 10 | | | |
| 特別損失 | 436 | 0.6 | 559 | 0.8 | 122 | 28.1 |
| 災害による損失 | - | | 337 | | | |
| 災害損失引当金繰入額 | - | | 174 | | | |
| 固定資産廃棄損 | 347 | | 45 | | | |
| その他 | 88 | | 2 | | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,366 | 6.0 | 2,903 | 4.0 | △ 1,462 | △ 33.5 |
| 当期純利益 | 2,604 | 3.6 | 1,887 | 2.6 | △ 717 | △ 27.5 |

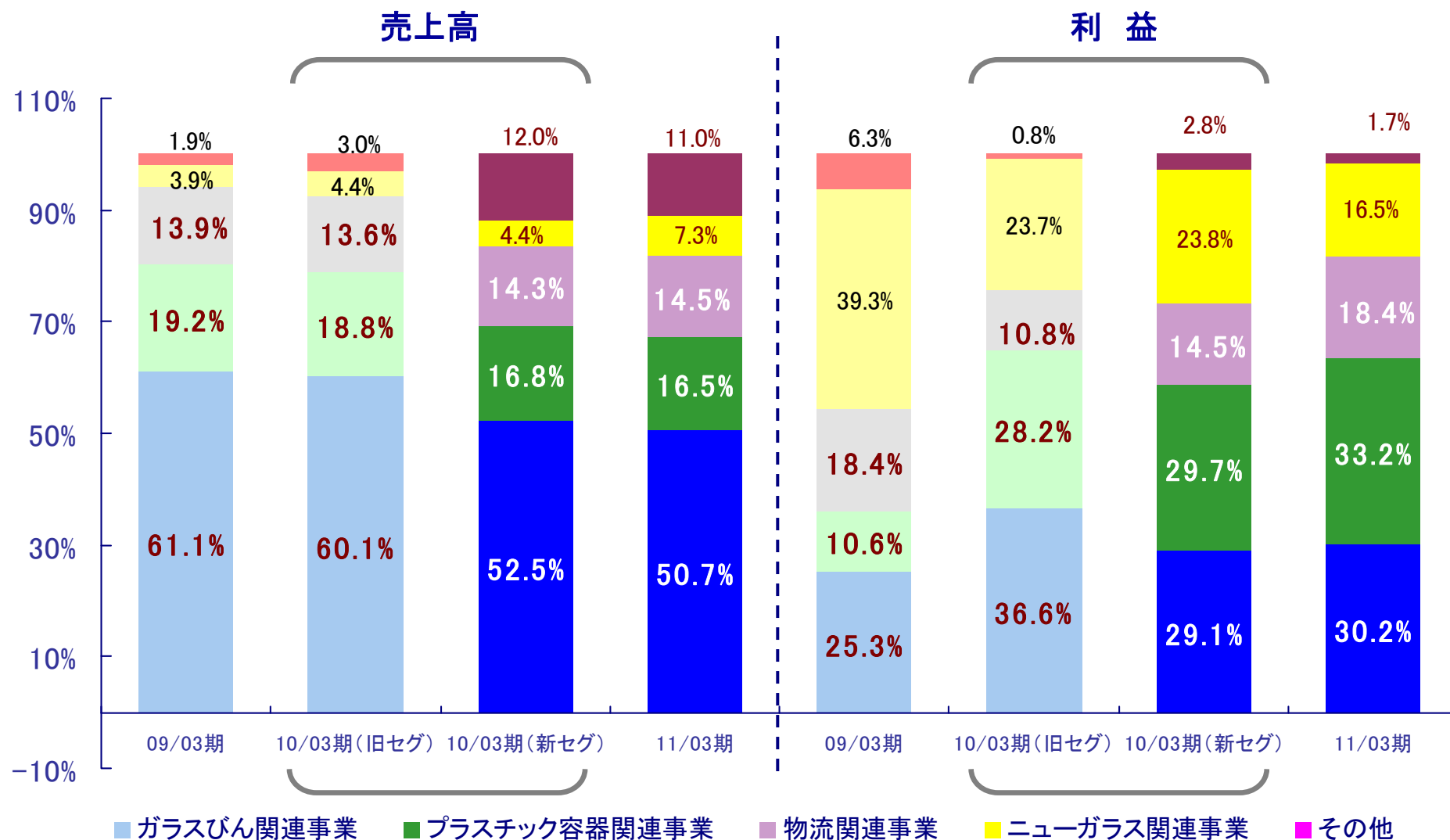
セグメント情報

(注)百万円未満切捨

| セグメント | 決算期 | 売上高 | セグメント利益 | 利益率 | 概況 |
|------------------|--------|--------|---------|-------|---|
| | | (百万円) | (百万円) | (%) | |
| ガラスびん 関連事業 | 11/03期 | 36,811 | 900 | 2.4% | 一部ヒット商品あるも、需要の減少を補填できず減収。生産効率の向上やあらゆる分野での費用削減努力で収益力の向上を目指すも原燃料上昇を吸収しきれず減益となった。 |
| | 10/03期 | 38,191 | 961 | 2.5% | |
| | 増減率 | 96.4% | 93.6% | | |
| プラスチック 容器関連事業 | 11/03期 | 11,981 | 991 | 8.3% | 昨夏の猛暑効果で夏季販売は伸長する一方、お客様の内製化(ペットボトル)、東日本大震災による影響もあり減収となるも、生産効率の向上等コストダウンが寄与し増益となった。 |
| | 10/03期 | 12,223 | 981 | 8.0% | |
| | 増減率 | 98.0% | 101.0% | | |
| 物流関連事業 | 11/03期 | 10,528 | 550 | 5.2% | 新規顧客開拓推進により、増収となった。またお客様の物流費削減の要請が厳しい中、作業効率の向上に努め、業務の効率化を推進した結果増益となった。 |
| | 10/03期 | 10,435 | 478 | 4.6% | |
| | 増減率 | 100.9% | 115.0% | | |
| ニューガラス 関連事業 | 11/03期 | 5,298 | 491 | 9.3% | 子会社化した山村フォトニクス(株)の売上が寄与し大幅な増収なるも、プラズマテレビ用粉末ガラスへの価格低減要請、開発費増加、山村フォトニクス(株)の収支低調により減益。 |
| | 10/03期 | 3,209 | 787 | 24.5% | |
| | 増減率 | 165.1% | 62.4% | | |
| その他 | 11/03期 | 7,979 | 52 | 0.7% | エンジニアリング事業での厳しい価格競争、景気の不透明感によるお客様での設備投資延期、また東日本大震災の影響もあり減収となり、セグメント利益も減益となった。 |
| | 10/03期 | 8,724 | 94 | 1.1% | |
| | 増減率 | 91.5% | 55.3% | | |

(注)当期よりセグメント区分を変更したため、前期は区分を遡及適用しております。

セグメント別売上高・利益構成比



(注) 当期よりセグメント区分を変更したため、前期は遡及適用した区分も載せております。

連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

| | 2010/03末 | 2011/03末 | 増減額 |
|-------------|---------------|---------------|----------------|
| 流動資産 | 40,691 | 41,109 | 417 |
| 現金及び預金 | 12,651 | 12,106 | △ 545 |
| 受取手形及び売掛金 | 19,182 | 19,189 | 7 |
| 商品及び製品 | 5,748 | 5,763 | 14 |
| 仕掛品 | 303 | 380 | 77 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,702 | 2,026 | 323 |
| その他 | 1,140 | 1,676 | 536 |
| 貸倒引当金 | △ 37 | △ 33 | 3 |
| 固定資産 | 55,815 | 53,613 | △ 2,201 |
| 有形固定資産 | 32,555 | 32,239 | △ 316 |
| 無形固定資産 | 377 | 430 | 53 |
| 投資その他の資産 | 22,882 | 20,943 | △ 1,938 |
| 投資有価証券 | 3,137 | 2,556 | △ 580 |
| 関係会社株式 | 15,520 | 14,459 | △ 1,060 |
| その他 | 4,296 | 3,997 | △ 298 |
| 貸倒引当金 | △ 71 | △ 70 | 1 |
| 資産合計 | 96,507 | 94,722 | △ 1,784 |

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

| | 2010/03末 | 2011/03末 | 増減額 |
|---------------------|----------|----------|---------|
| 流動負債 | 19,297 | 17,510 | △ 1,786 |
| 支払手形及び買掛金 | 7,560 | 7,209 | △ 351 |
| 短期借入金 | 5,726 | 5,053 | △ 673 |
| その他(1年内社債含む) | 6,011 | 5,248 | △ 762 |
| 固定負債 | 25,619 | 26,317 | 697 |
| 社債 | - | 1,000 | 1,000 |
| 長期借入金 | 17,680 | 17,380 | △ 300 |
| 退職給付引当金 | 3,264 | 3,549 | 284 |
| 特別修繕引当金 | 4,164 | 3,915 | △ 248 |
| その他 | 510 | 471 | △ 39 |
| 負債合計 | 44,917 | 43,827 | △ 1,089 |
| 資本金 | 14,074 | 14,074 | - |
| 資本剰余金 | 17,300 | 17,300 | 0 |
| 利益剰余金 | 25,216 | 25,665 | 449 |
| 自己株式 | △ 1,213 | △ 1,218 | △ 4 |
| その他有価証券評価差額金 | 218 | △ 28 | △ 247 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 23 | 23 |
| 為替換算調整勘定 | △ 4,049 | △ 4,966 | △ 916 |
| 少数株主持分 | 42 | 43 | 0 |
| 純資産合計 | 51,589 | 50,894 | △ 694 |

連結C/F計算書(要約)

単位:百万円(百万円未満切捨)

| | 2010/03期 | 2011/03期 | 増減額 |
|---------------------|----------|----------|--------|
| 営業活動によるキャッシュフロー | 10,024 | 4,696 | △5,327 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | △3,748 | △3,372 | 375 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | △1,835 | △1,864 | △28 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 4,449 | △545 | △4,994 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,202 | 12,651 | 4,449 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 12,651 | 12,106 | △545 |

2010/03期主な項目

◇ 営業活動キャッシュフロー

- ①税金等調整前当期純利益(4,366)
- ②減価償却費(5,015)

◇ 投資活動キャッシュフロー

- ①有形固定資産の売却収入(1,318) 旧西宮本社土地売却
- ②有形固定資産の取得支出(△3,201)
ガラス・プラスチックの生産設備更新、新社屋建設
- ③関係会社の取得支出(△1,209)
山村インターナショナル・タイランドの設立、SMYPILの増資・クロージング、SMYPCのクロージング

◇ 財務活動キャッシュフロー

- ①長期借入金の返済による支出(純額で△1,000)
- ②配当金支払(△682)

2011/03期主な項目

◇ 営業活動キャッシュフロー

- ①税金等調整前当期純利益(2,903)
- ②減価償却費(4,799)
- ③法人税等の支払額(△1,893)

◇ 投資活動キャッシュフロー

- ①有形固定資産の取得による支出(△2,711)
- ②連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(△603)

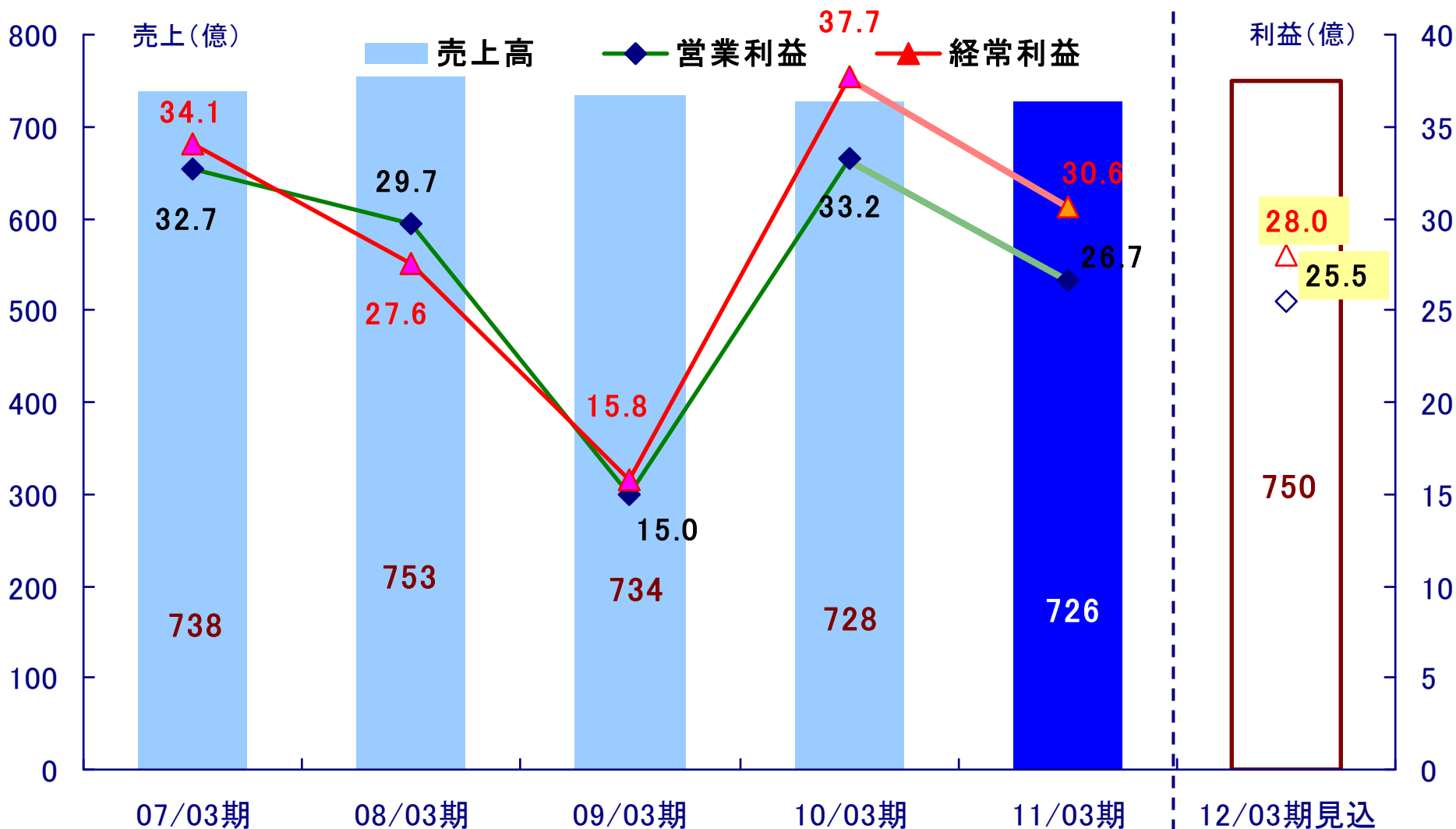
◇ 財務活動キャッシュフロー

- ①長期借入金の返済による支出(純額で△1,150)
- ②配当金の支払額(△735)

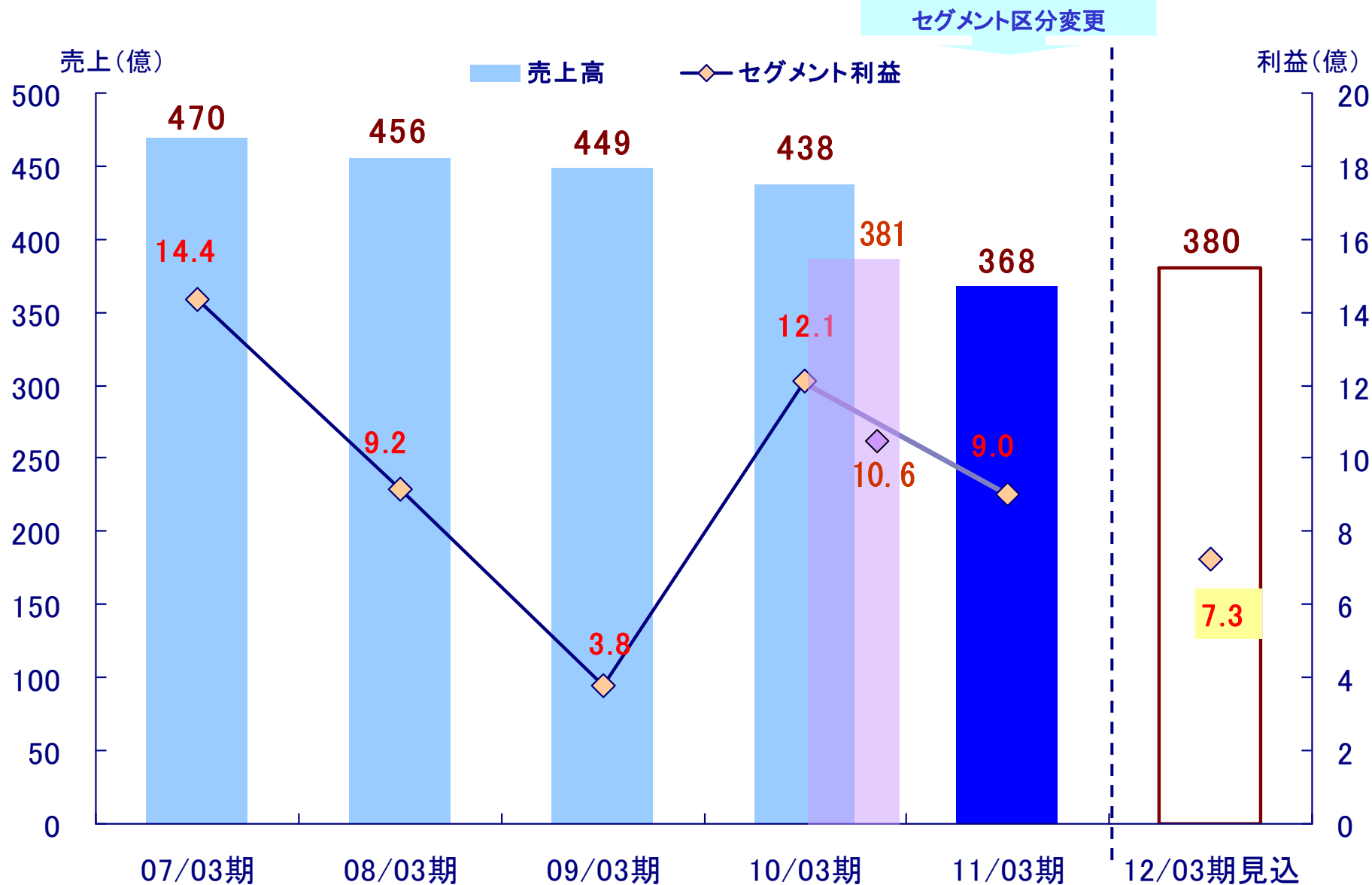
Ⅲ 2011年3月期 セグメント別業績と予想

- ◇ 連結及びセグメント別業績推移
- ◇ 海外関係会社の業績推移

連結業績推移

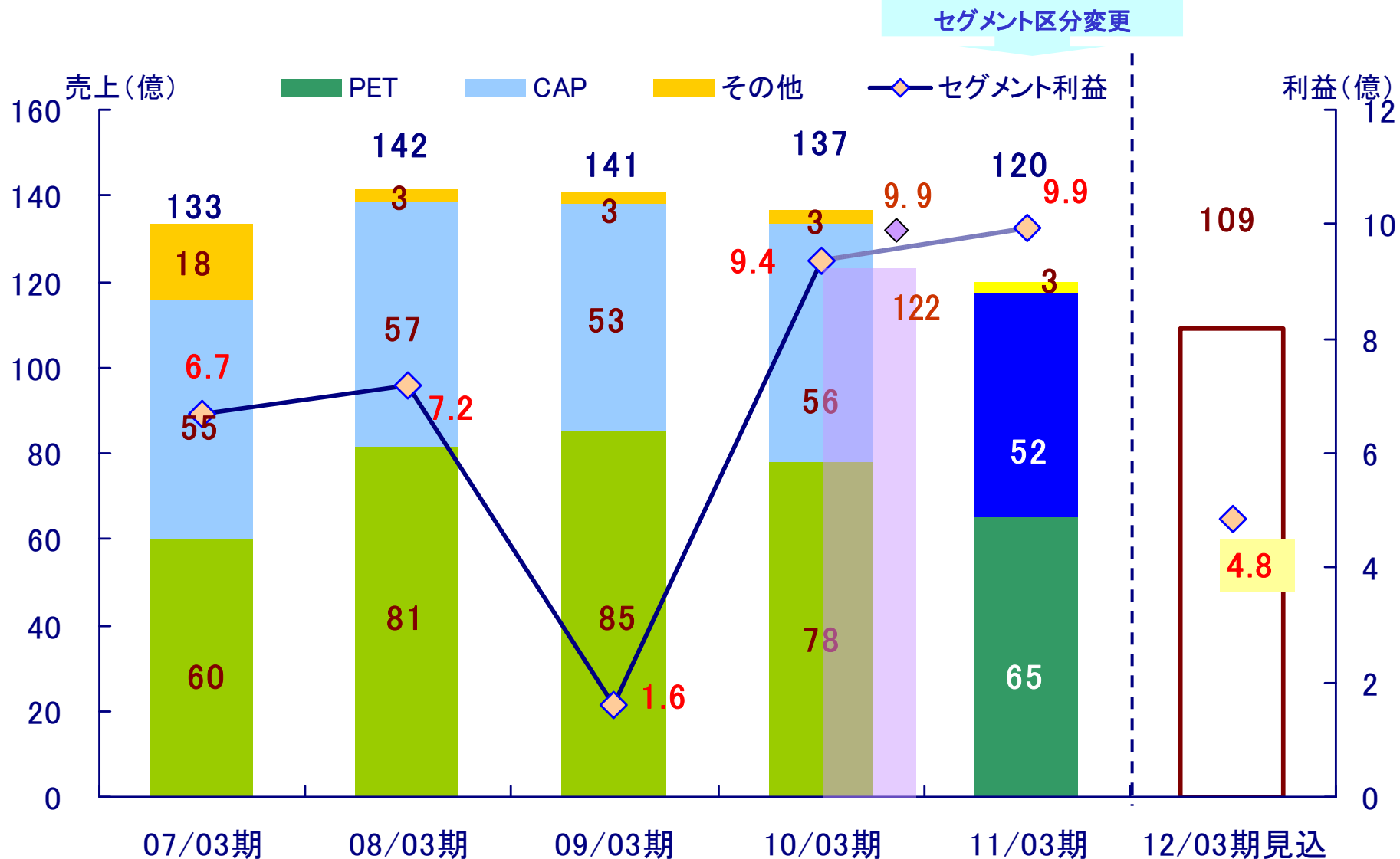


業績推移ーガラスびん関連事業



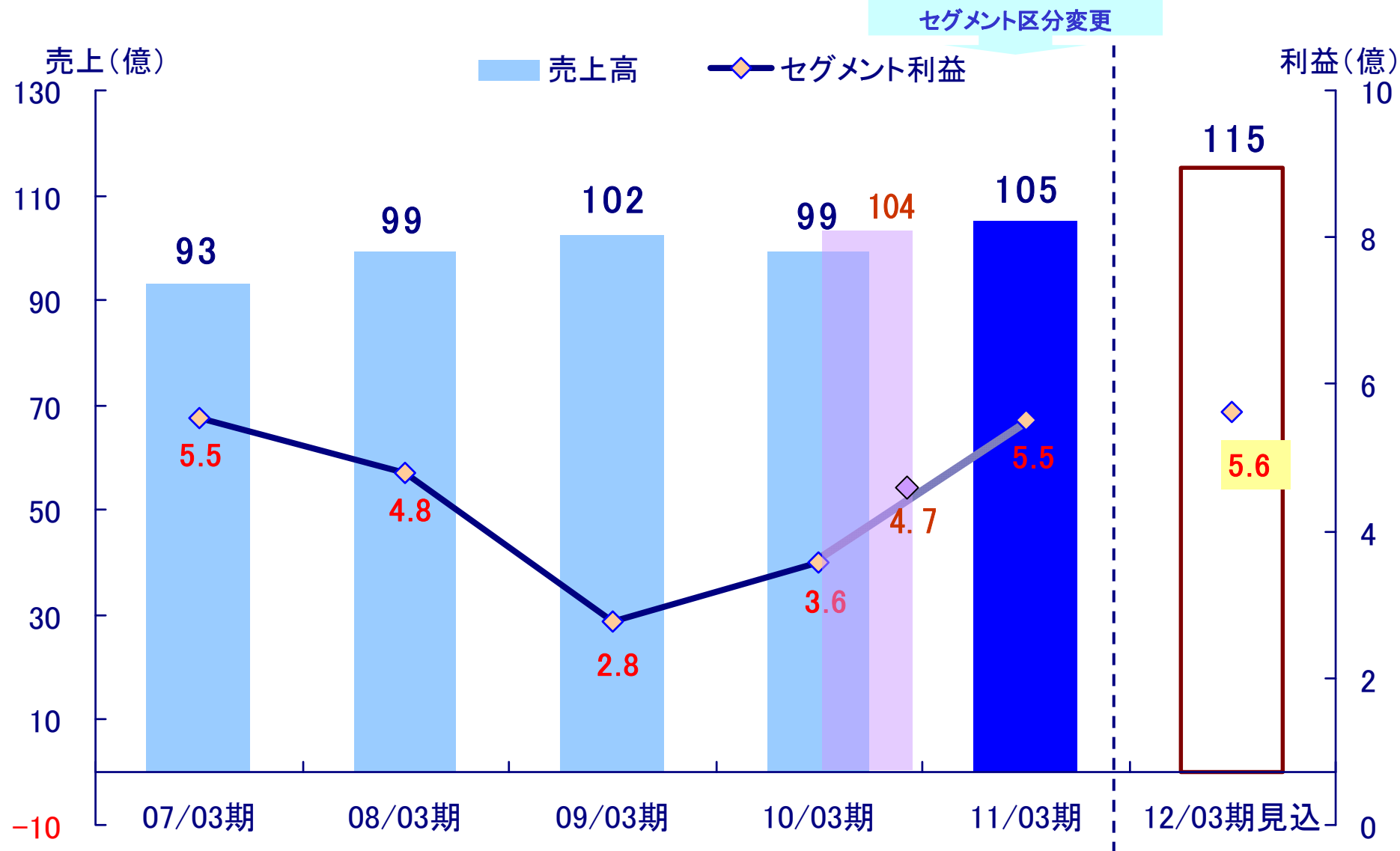
※新セグメントで遡及計算したもの

業績推移ープラスチック容器関連事業



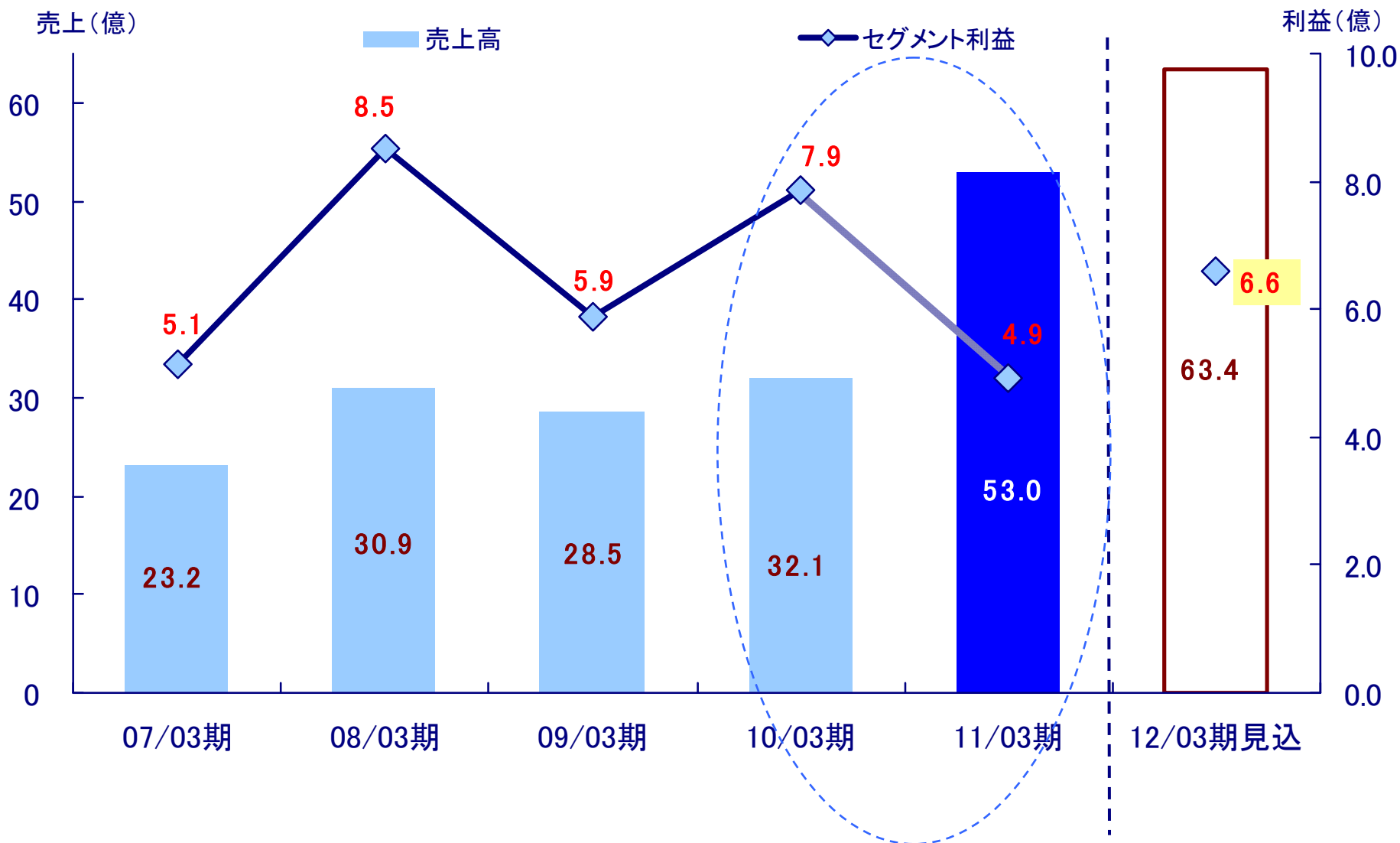
※新セグメントで遡及計算したもの

業績推移—物流関連事業

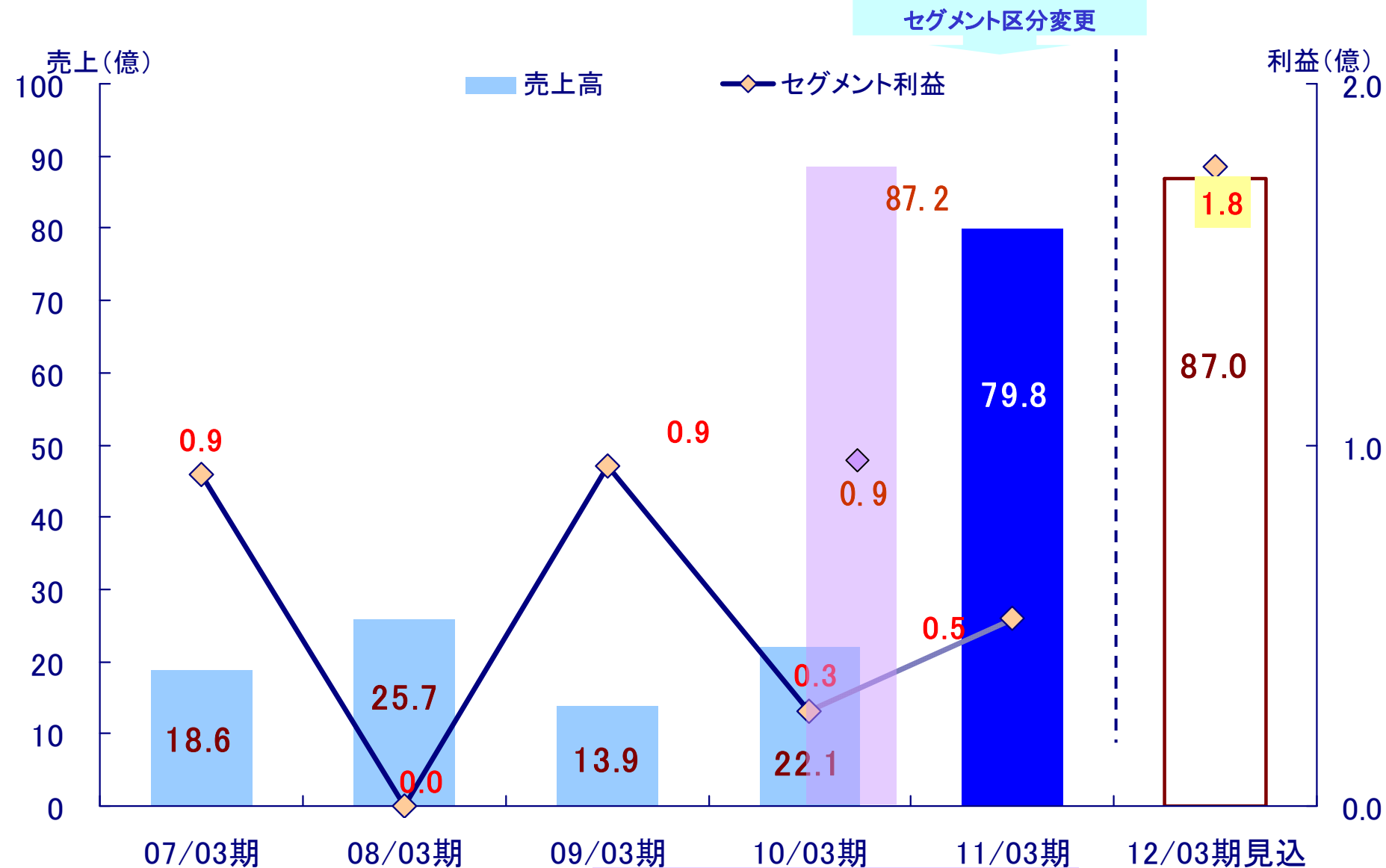


※新セグメントで遡及計算したもの

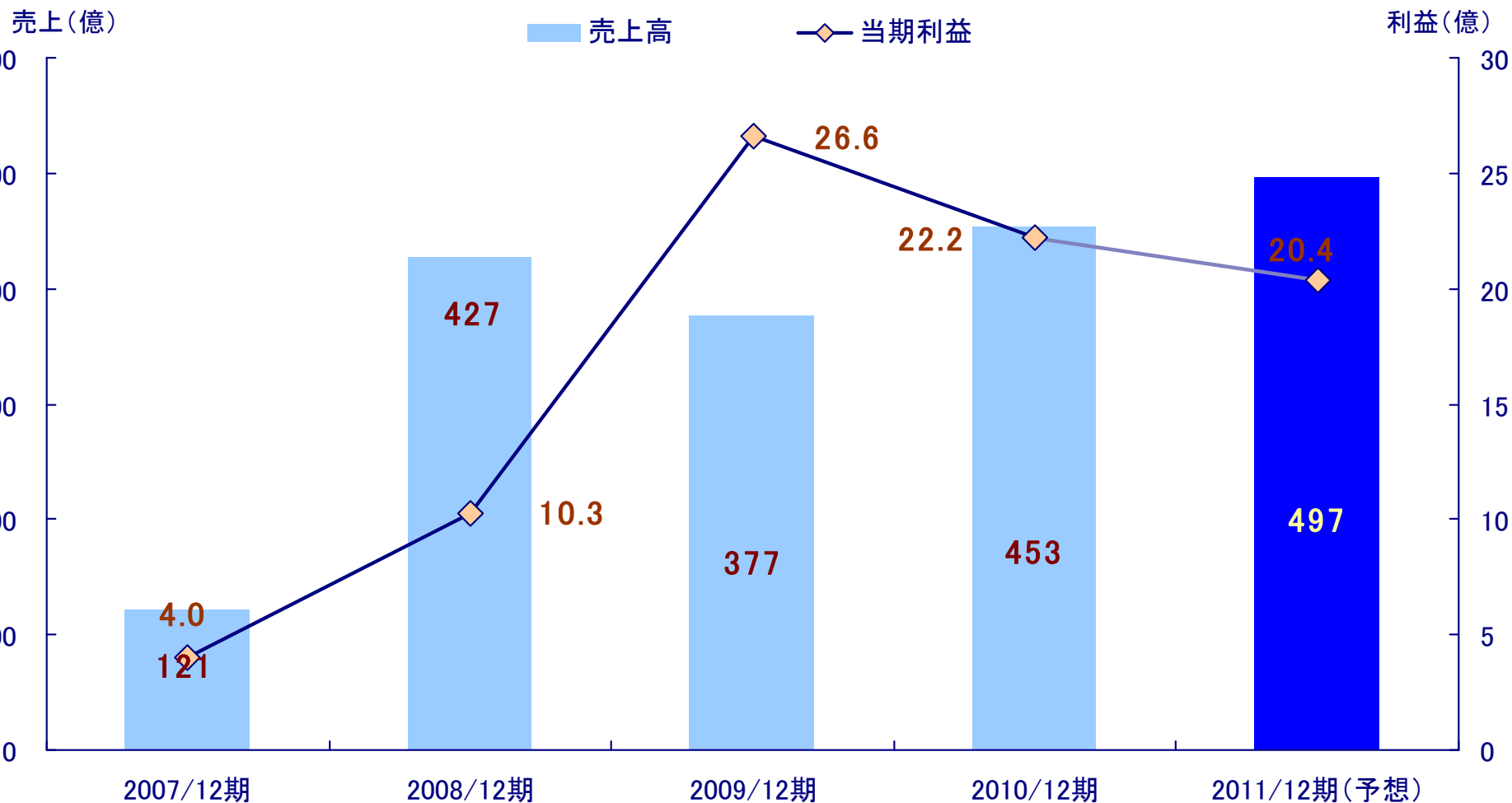
業績推移ーニューガラス関連事業



業績推移—その他



ご参考：海外関係会社の業績推移



注) 当社の利益は持株比率となります。

IV トピックス

- ◇宇都宮工場で製造ラインを増設
- ◇本社管理部門に新卒外国人を採用
- ◇「フォトニクス2011」へ出展
- ◇「レーザーEXPO2011」へ出展

IV トピックス

宇都宮工場でプラスチックキャップ製造ラインを増設

【稼働開始】 2011年1月

【増設の目的】 飲料用プラスチックキャップの拡売を図るため。

【生産能力】

ラインの生産能力は**5億個／年**です。

また、当社の飲料ペットボトル用プラスチックキャップの生産能力は、宇都宮・関西の両工場を合わせて**30億個強／年**となりました。



IV トピックス

本社管理部門に新卒外国人を採用

フィリピンの大学より、当社の管理部門へ人材採用を行いました。

これまでも、技術部門への採用の実績(5名)はありましたが、今回は技術部門への4名に加え、初めて本社の管理部門へ3名の人材を迎えました。

海外展開を積極的に推進する中、海外を含めた連結決算の実務や現地での人材採用など、外国人スタッフを若い段階から育成することで、グローバル企業を目指す当社の業容拡大に備えます。

IV トピックス

「フotonix2011」へ出展

2011年4月13～15日開催の「フotonix2011」へ、当社ニューガラスカンパニーと山村フotonix株式会社が出展しました。

「フotonix2011」は、光通信技術展(FOE)、レーザー加工技術展、オプティクスEXPO、光センシング技術展、メディカル フotonix EXPOを設ける、光/レーザーの総合技術展です。

- ◆名称 Photonix 2011 -フotonix-
- ◆会期 2011年4月13～15日
- ◆会場 東京ビッグサイト
- ◆主催 リードエグジビジョン ジャパン (株)
- ◆出展者数 727社
- ◆来場者数 16,078名
- ◆当社ブースへの訪問者数 約250名



日本最大【光/レーザー総合技術展】

フotonix
Photonix 2011

Heart&Technology

IV トピックス

「レーザーEXPO2011」へ出展

山村フォトニクス社が2011年4月20～22日に開催の「レーザーEXPO2011」へ出展しました。

ブースでは、拡散板、ウィンドウキャップなど、同社の製品群を幅広く紹介しました。

- ◆名 称 レーザーEXPO2011
- ◆会 期 2011年4月20～22日
- ◆会 場 パシフィコ横浜
- ◆主 催 社団法人 レーザー学会
- ◆出展者数 251社
- ◆来場者数 10,183名
- ◆当社ブースへの訪問者数 約50名



世界のYAMAMURAへ

—心と技術を伝えたい—



この絵「Vision Art (ビジョンアート)」は、山村グループ経営幹部全員の「世界のYAMAMURAへ」に対する想いをアーティストに描いてもらったものです。
山村グループが、創業以来育んできた「心と技術を通じ社会に貢献する」精神を大切に、世界に誇れる「YAMAMURA」ブランドを確立したい、その意志を1枚の絵で表現しています。
皆さんはこの絵から、何を感じますか？

 日本山村硝子株式会社

ご清聴

ありがとうございました。

 **日本山村硝子株式会社**

[http:// www.yamamura.co.jp/](http://www.yamamura.co.jp/)

お問い合わせ先：コーポレート本部広報部長 堤

Tel (03)3349-7219 (ダイヤルイン)

Fax (03)3348-2349

E-mail: tsutsumi_k@yamamura.co.jp